

出張報告 ベルギー(imec)、オランダ(Holst Center、OnePlanet Research Center)

奥村 由香

産業科学研究所 技術室 計測班

1. 概要

出張先: ベルギー(imec)、オランダ(Holst Center、OnePlanet Research Center)

出張期間: 2024 年 12 月 7 日(土)～2024 年 12 月 16 日(月)

目的: 撮影および施設見学・視察



imec Tower

2. 日程概要

12 月 7 日～12 月 8 日: 移動

12 月 9 日: imec シンポジウムに参加(1 日開催、23 件の発表あり。セッションは量子、バイオ、AI、センサーの 4 領域に分かれて実施)

12 月 10 日: 分野ごとに分かれ、共同研究に向けたディスカッションを実施。その後、imec のラボツアーに参加し、クリーンルーム等の施設を見学

12 月 11 日: オランダに移動し、Holst Center を見学。センサー関連技術を中心にギャラリースペースで紹介を受けた後、実験室を視察。各作業台には QR コードが設置され、機器使用状況を登録するシステムが導入されていた。試作工場のようなエリアも整然としており、設備の管理状況が印象的であった。

12 月 12 日: オランダの OnePlanet Research Center を訪問。ライフサイエンス分野の研究を行っており、消化過程の実験現場などを見学。独特な臭気がある環境でも研究者がマスクなしで作業しており、研究環境への慣れと集中力に驚かされた。実験では 3D で再現した胃腸モデルを用い、カプセル等を流す研究が行われていた。imec では装置維持にかかる費用を抑えるため、大学の装置を活用しているとのこと。



OnePlanet Research Center 施設見学の様子

12 月 13 日: 来年度の活動運用について関係者と打合せを実施。次回は 2025 年 5 月または 6 月に大阪での開催を予定。(その後、11 月に変更となった。)

12 月 14 日～12 月 16 日: 帰国のための移動

・ 所感

今回訪問した imec および関連研究施設は、いずれも非常に開放的かつ先進的な設計が施されており、研究者にとって快適かつ創造的な環境が整っていると感じました。自然光の取り入れ方や共用スペースの配置にも工夫が見られ、居心地の良さはもちろん、研究に没頭しやすい雰囲気が醸成されていました。

特に印象的だったのは、自由に利用できるコーヒーコーナーや、ミーティングスペースで常時提供されていたケーキなどの軽食です。これにより、偶発的な交流が促され、組織内外のコミュニケーションが自然と活性化されているよう

に感じました。また、4 階までの吹き抜け構造や最新設備の整備状況など、物理的な環境づくりにも非常に力を入れている印象を受けました。一方で、日本人の感覚からすると、開放的すぎる構造や飲食物の無防備な提供について、安全管理面での不安を感じる場面もありました。このような点からも、施設設計や運営における文化的な考え方の違いを実感しました。

技術面だけでなく、研究環境そのものの在り方や研究者の働き方においても多くの学びがあり、今後の施設整備や研究支援の在り方を考えるうえで非常に有意義な機会となりました。

本出張を通じて、最先端の研究が行われる現場の空気に直接触れることができ、今後の研究活動や国際連携の推進に向けた視点を広げる貴重な経験となりました。今後の取り組みにしっかりと活かしてまいります。